

訓練所の現在。内装の段階に入り、何とか秋までに落成予定。写真は正面中庭からの眺め。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



すでに PMS 職員数名が泊まり、シェイワの宿泊地を引き払っている。ジャララバードにずいぶん近くなったので、市内やソルフロドからの通勤も可能となり、皆を喜ばせている。

治安悪化の折から、警護兵数十名が自治会との協力で常駐、「砦」と呼ぶにふさわしい。公的な告知は大幅に遅れるが、PMS 職員の再学習は軌道に乗る。



中庭側



炊事場



窓枠等の内装

ミラーン堰主幹水路

ガンベリ PMS 農場のオレンジ園。移植後 3 年で殆どが活着した。地道な努力が続けられている。2017 年 8 月 13 日（ザイヌッラー撮影）



オレンジの接ぎ木作業が始まっている。オレンジは日本のカラタチに相当するもので、台木として頻用される。他の柑橘類、ミカン、ネーブル、グレープフルーツ、キンカン、ザボンらが接ぎ木で栽培される。秋に行う接ぎ木の方法は「芽つぎ」で、日本と同じ。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



畜産も盛んになっている。3年前、子牛3頭、乳牛2頭で出発し、現在30頭に迫る。特に専門の酪農家が居るわけではなく、PMS職員なら誰でも手馴れていて、現場監督だった者が農業担当になっている。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



Q3 貯水池の現在。緑はいよいよ深く、平和丘が立ち木に覆われて見えなくなっている。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



Q2貯水池の現在。排水路造成の機会を待っている。造成直後は土砂の圧密が不十分で、コンクリート製の排水門との間に抜け道ができて、決壊の恐れがあった。不用意な排水溝は、管理がきちんとしてないと危険だ。一度は浚渫して泥土堆積を調査する。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



PMS 農場の砂防林の向こうで集落が急速に増えている。殆どがパキスタンからの送還難民らしい。水辺（マルワリード用水路）が近いので、他の場所よりは住みやすいのだ。2017年8月13日（ザイヌッラー撮影）



送還難民といっても、大半は遊牧民の係累で独自にコロニーの建設が行われている。砂防林から外は標高が高く、用水路の水は届かない。2017年8月13日
(ザイヌッラー撮影)

